

学校だより

日本海を越えていく

第2号

<栗島浦小中学校 フルーツたくさん>

今年、校門脇のいちごやさくらんぼがたくさん実りました。子どもたちは、休み時間や下校の際にその実を食べるのを楽しみにしています。冬はちなみにみかんがなります。今年の冬は何個実るか楽しみです。

感 動

校 長 佐藤 雅秀

「子どもたちの踊り、とってもよかったあ」「上手に踊るもんですねえ」「踊りを見ているこっちが元気をもらう」「うまいうまいうまい、えらいえらい」

5月2日、3日の島びらきで、小中学生がソーランを披露した際に保護者や地域の方、観光客の皆様からいただいた言葉です。海の青、空のあおを背景に、大漁旗でこしらえた法被を着て一生懸命踊る児童生徒の姿は、確実に大勢の人に感動をもたらせました。それが前述の言葉です。3日には新潟県の花角知事が来島された際に踊りを御覧になり、同様に児童生徒に言葉をかけてくれました。



「は～、疲れた。」「終わったー!」「大丈夫。まだ歩ける。」「海がきれいだった」「最後まで歩くことができてうれしい。」「・・・」

歩き終わった児童生徒から出てきた言葉です。令和4年度の健康ウォークは、5月14日に雨天のため中止となりましたが、栗島に触れ、自然を感じ、自分自身の可能性を知る絶好の機会であることから、小中学校それぞれが後日に実施しました。



島一周または半周を歩くことは、大変なことです。平坦な道ならばいざ知らず、高低差の激しい道を書くことはそれだけでチャレンジです。しかし、児童生徒はそのチャレンジを見事にやり遂げ、完歩しました。段落冒頭の声は、無事に成し遂げた自分自身に対する感動の表れだと思います。

その他にも、小学校高学年が修学旅行へ、低中学年は社会見学にそれぞれ出かけてきました。中学校は、交流学习を体験しました。5月も様々な行事があり、その行事ごとに数多の感動を経験してきたことでしょう。

皆さんはどのようなときに感動しますか。感動という言葉は辞書で引くと、「物事に（特別な意味や価値を感じて）強く心を動かされること」とあります。そうです。心を揺さぶられる際には、何か意味や価値を感じ取る過程があるのです。昨年開催された東京オリンピックは、日本中を感動の渦に巻き込みました。なぜでしょう。それはメダルを取るために、選手が過ごしてきた4年間（想像を絶する練習や家族・同僚との絆、周囲・本人の思いなど）という過程を私たちが共有したからです。だからあれほどの感動につながったのです。

人の頑張りや他者の心を動かすのは、児童生徒の活動も同じです。活動を成功させるために毎日練習したり、調べたり、よいものを創り上げようと真剣に話し合ったり、一生懸命に取り組んだからこそ、他者にも自分にも感動を与えることができたのです。今後たくさん教育活動が予定されています。自分の頑張りや他者を感動させる、そんな素敵な活動をこれからも児童生徒と創り上げていきます。



5月2日(月)3年ぶりに“島びらき”が開催され、児童生徒は「島っ子ソーラン」を観客の皆さんに披露することができました。

港に船が到着し観光客が島に降り立つと、三味線の音とともに高らかに曲が流れ、島っ子ソーランがスタートしました。アップテンポなソーラン節に合わせ、子どもたちの魂を込めた躍動感あふれる踊りに見物客からはたくさんの拍手が寄せられました。思えば、子どもたちはこの日のために、4月7日から中学生のリーダーを中心としてソーラン練習に取り組んできました。グループ毎に何度も練習を重ねながら話し合いを繰り返し、自分たちの意思でよりよいものを創り上げました。その成果が、本番の大きな賞賛につながりました。自分の力を精一杯発揮し、最後までやり遂げたという子どもたちの表情は光輝いていました。それを間近で見ていた職員みんなの胸も熱くなりました。当日応援に来てくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。

児童生徒総会が行われました!



5月13日(金)CTの時間から5時間目にかけて今年度初めての児童生徒総会が行われました。今年度の児童生徒会スローガンは、「明笑信学(あわしま)個性で挑む local love」です。特にこの明笑信学(あわしま)という言葉は、明るく笑って皆を信じて協力して学び合おうという意味が込められています。これから児童生徒会役員を中心に自分も仲間も大切にできる学校を創っていきます。今年もどんな素敵な学校ができるか今からワクワクします。



小学生・中学生ともに 島を離れ、たくさんのことを学びました！

5月18日（水）に小学1～4年生は村上市内で社会見学を行い、様々なことを学んできました。また、5、6年生は、18日（水）から1泊2日で新潟方面に修学旅行に行き、たくさんのことを見て体験してきました。ちなみに1～4年生の見学先ベストワンは、いちご狩り、そして5、6年生の見学先ベストワンは新潟競馬場でした。

社会見学

1～4年



修学旅行

5・6年



交流学习

中学生

中学生19名は、5月24日（火）神林中学校へ交流学习に行き、神林中学校の生徒たちと交流を深めました。一緒に授業を受けたり、給食を食べたり、放課後の部活を体験したりとたくさんの体験をしてきました。これらの活動は、生徒の社会性を育むよい機会になりました。



今年度PTA会長を拝命いたしました松浦拓也と申します。何卒よろしくお願ひいたします。今年度も感染症拡大防止の観点から様々な制約の中でのスタートでしたが、わかめ採りや授業参観での子どもたちの笑顔と笑い声が満ちている様子に、学校生活を楽しんでいることを感じる事ができました。安全な学校生活へ向けて、様々な対策・工夫・努力をしてくださっている先生方に心から感謝いたします。活動に制限がある中ではありますが、学校・家庭・地域のつながりを大切にして、PTAとしても子どもたちが成長できるようにサポートしていきたいと思っております。保護者の皆様には、本年度もご協力をよろしくお願ひいたします。

栗島一周チャレンジウォーク

中学校編

5月14日（土）に予定されていた健康ウォークが悪天候により中止になりましたが、5月19日（木）中学生は、チャレンジウォークとして島一周にチャレンジしました。今年は、島一周の四分の三を過ぎた牧平からパノラマ街道に入るチャレンジコース（新コース）と海沿いを歩く海洋コースの2コースで行いました。夕方、19名全員が学校に帰校し、見事完歩することができました。閉会式では、どの子供たちの顔も達成感に満ち溢れていました。栗島の自然に見守られながらどんなに辛いことも仲間と乗り越えていく大切さを学びました。



栗島半周リベンジウォーク

小学校編



小学生はリベンジウォークとして5月24日（火）釜谷まで歩きました。全校を縦割りにして高学年

のリーダーが班のメンバーを上手にリードして歩くことができました。釜谷に到着すると、さっこい館でお弁当給食のカレーをみんなで美味しくいただきました。